



このマニュアルについて

ここでは、次の項について説明します。

- 「目的」 (P.xxxiii)
- 「対象読者」 (P.xxxiii)
- 「マニュアルの構成」 (P.xxxiv)
- 「関連資料」 (P.xxxiv)
- 「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」 (P.xxxv)

目的

『Cisco Prime Provisioning 6.3 ユーザ ガイド』には、すべてのアプリケーションにわたって Prime Provisioning サービスおよびコンポーネントの詳細な説明があります。



(注)

このリリースの Prime Provisioning は、スタンドアロン製品、または Cisco Prime for IP Next Generation Network (IP NGN) スイートの一部として使用できます。スイートの一部としてインストールした場合は、Prime Central ポータルから Prime Provisioning を起動できます。Prime Central の詳細については、[Cisco Prime Central 1.1](#) のマニュアルを参照してください。

対象読者

このマニュアルは、カスタマーのために Prime Provisioning サービスのプロビジョニングを担当するサービス プロバイダーのネットワーク管理者およびオペレータを対象にしています。

ネットワーク管理者とオペレータは、設定しているサービスに必要な次の項目に精通している必要があります。

- インターネットワーキングで使用される基本的な概念と用語。
- ネットワーク トポロジおよびプロトコル
- Layer 2 Virtual Private Network (L2VPN; レイヤ 2 バーチャル プライベート ネットワーク)、Virtual Private LAN Service (VPLS; 仮想専用 LAN サービス)、VPN、マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS)、用語、およびテクノロジー
- MPLS VPN の用語とテクノロジー。

- また、マルチプロトコル ラベル スイッチング トラフィック エンジニアリング (MPLS TE) の概念とトラフィック エンジニアリングに関する一般的な知識も必要です。

マニュアルの構成

このマニュアルは、次の章で構成されています。

- 第 1 章「[Prime Provisioning GUI の概要](#)」では、Prime Provisioning のグラフィカル ユーザー インターフェイス (GUI) の概要について説明します。
- 第 2 章「[Prime Provisioning を設定する前に](#)」では Cisco Prime Provisioning サービスを設定する方法について説明します。
- 第 3 章「[L2VPN とキャリア イーサネット サービスの管理](#)」では、L2VPN とキャリア イーサネット サービスを管理する方法について説明します。
- 第 4 章「[RAN バックホール サービスの管理](#)」では、RAN バックホール サービスを管理する方法について説明します。
- 第 5 章「[MPLS VPN サービスの管理](#)」では、MPLS VPN サービスを管理する方法について説明します。
- 第 6 章「[MPLS トランスポート プロファイル サービスの管理](#)」では、MPLS 転送プロファイル サービスを管理する方法について説明します。
- 第 7 章「[MPLS トラフィック エンジニアリング サービスの管理](#)」では、MPLS トラフィック エンジニアリング サービスを管理する方法について説明します。
- 第 8 章「[サービス要求の管理](#)」では、サービス要求を管理する方法について説明します。
- 第 9 章「[テンプレートおよびデータ ファイルの管理](#)」では、テンプレートおよびデータ ファイルを管理する方法について説明します。
- 第 10 章「[モニタリング](#)」では、Prime Provisioning をモニタする方法について説明します。
- 第 11 章「[診断の実行](#)」では、Prime Provisioning での診断の実行について説明します。
- 第 12 章「[トポロジ ツールの使用](#)」では、Prime Provisioning でトポロジ ツールを使用する方法について説明します。
- 第 13 章「[インベントリ マネージャの使用](#)」では、Prime Provisioning でインベントリ マネージャを使用する方法について説明します。
- 付録では、補足情報を提供します。

関連資料

Cisco Prime Provisioning のすべてのマニュアル セットは、次の URL でアクセスできます。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps12199/tsd_products_support_series_home.html

または

<http://www.cisco.com/go/provisioning>

Cisco Prime Provisioning 6.3 マニュアル セットには次のマニュアルが含まれます。

一般的なマニュアル (この順序で読むことを推奨します)

- 『[Cisco Prime Provisioning 6.3 Documentation Overview](#)』

- 『Cisco Prime Provisioning 6.3 Release Notes』
- 『Cisco Prime Provisioning 6.3 Installation Guide』
- 『Cisco Prime Provisioning 6.3 Supported Devices』
- 『Cisco Prime Provisioning 6.3 User Guide』
- 『Cisco Prime Provisioning 6.3 Administration Guide』
- 『Open Source Used in Cisco Prime Provisioning 6.3』

API に関するマニュアル

- 『Cisco Prime Provisioning 6.3 API Programmer Guide』
- 『Cisco Prime Provisioning API 6.3 Programmer Reference』



(注)

どのマニュアルも、将来アップグレードされる可能性があります。アップグレードされたマニュアルはすべて、本書で示したのと同じ URL で入手できます。

他の Cisco Prime 製品マニュアル

次の Cisco Prime 製品のマニュアルも参照してください。

- [Cisco Prime Central 1.1](#)
- [Cisco Prime Network 3.9](#)
- [Cisco Prime Optical 9.6](#)
- [Cisco Prime Performance Manager 1.2](#)

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。

